

FAVEコイン(FAVE) ホワイトペーパー

OPEN FAVEプラットフォーム ユーティリティトークン

エグゼクティブサマリー

OPEN FAVEプラットフォームは、クリエイターとファンの新しい関係性を構築する分散型エコシステムです。FAVEコインは、FAVER(インフルエンサー)向けVIPサービスへのアクセス権を提供するユーティリティトークンとして設計されています。

主要なVIPサービスには、USDTベースでの直感的なトークン発行を可能にする「DWUベーストークン発行サービス」、AI音声・リアルボイス・コレクションコインなど多様なデジタル商品を扱う「FAVER DIGITAL GOODSサービス」があり、これらは商品・サービスレベルで細分化してアンロック可能です。

FAVERはFAVEコインを運営ウォレットに送付することでVIPサービスを解放でき、ファンはFAVEコインの投げ銭を通じてFAVERのVIPサービス利用を支援し、結果的に自身もVIPサービス・コンテンツを受け取ることができます。この仕組みにより継続的なコイン需要と価値向上を実現します。

本トークンは投資商品ではなく、プラットフォーム内でのサービス利用を目的とした機能型トークンです。

目次

1. [プロジェクト概要](#)
 2. [現状の課題](#)
 3. [OPEN FAVEエコシステム](#)
 4. [FAVEコインの設計思想](#)
 5. [ユーティリティ機能](#)
 6. [プラットフォーム運営](#)
 7. [トークノミクス](#)
 8. [技術仕様](#)
 9. [法的対応](#)
 10. [ロードマップ](#)
 11. [リスク要因](#)
-

1. プロジェクト概要

1.1 OPEN FAVEプラットフォームとは

OPEN FAVEプラットフォームは、インフルエンサー(FAVER)とファンコミュニティが価値を共創する分散型プラットフォームです。従来のSNSプラットフォームの制約を超え、ブロックチェーン技術を活用した新しい形のクリエイターエコノミーを実現します。

1.2 ビジョン

「応援をユーティリティに変える、持続可能なクリエイターエコシステムの構築」

FAVERは独自トークンを発行し、ファンとの直接的な関係を構築できます。ファンはトークン保有を通じてクリエイターを支援し、AI音声・リアルボイス・コレクションコインなどの特別なデジタル商品やサービスにアクセス可能になります。商品レベルでの細分化されたアンロック機能により、継続的で持続可能なコイン循環を実現します。

2. 現状の課題

2.1 デジタルクリエイターエコノミーの限界

プラットフォーム依存の課題

- 中央集権的プラットフォームによる高い手数料
- プラットフォーム方針変更によるリスク
- ファンとの直接的関係構築の困難

マネタイズ手法の制限

- 限定的な収益化オプション
- 地域・時間的制約
- ファンエンゲージメントの一方向性

技術的な課題

- 暗号通貨の複雑なユーザー体験
- 非直感的な価格表示(例:0.0000456 ETH)
- 一般ユーザーにとってのアクセシビリティの低さ

3. OPEN FAVEエコシステム

3.1 エコシステムの構成要素

FAVER(インフルエンサー)

- 独自トークンの発行

- ファンコミュニティの構築
- VIPサービスへのアクセス

ファン(コミュニティメンバー)

- FAVERトークンの取得
- 限定コンテンツへのアクセス
- コミュニティ活動への参加

OPEN FAVEプラットフォーム

- インフラ提供
- プラットフォーム運営システム
- 技術サポート

3.2 現在提供されるVIPサービス

DWUベーストークン発行サービス

- USDTベースのトークン発行機能
- 直感的な価格設定の実現
- 国際的な価値基準への対応

FAVER DIGITAL GOODS サービス

- AI音声・リアルボイスコンテンツ販売
- コレクションコインなどのデジタルグッズ販売
- 商品レベルでの細分化されたアンロック機能
- 多様なデジタル商品の取り扱い

4. FAVEコインの設計思想

4.1 基本コンセプト

FAVEコインは純粋なユーティリティトークンとして設計されており、以下の機能を提供します。

1. サービスアクセス権: VIPサービスの利用権限
2. エコシステム参加証明: コミュニティメンバーシップ
3. 段階的アンロック: 商品レベルでの細分化されたアクセス制御

商品レベルでの細かなアンロックシステムにより、継続的なコイン需要を創出し、VIPサービスを中心とした健全なコイン循環エコシステムを構築します。

4.2 設計原則

透明性の確保

- 全ての取引記録のオンチェーン管理
- プラットフォーム運営の透明性
- 適切な情報開示

持続可能性

- 実用的なサービスに基づく価値提供
- 投機的要素の排除
- 長期的なエコシステム発展

アクセシビリティ

- 直感的なユーザー体験
- 日本語対応
- 一般ユーザーフレンドリーな設計

5. ユーティリティ機能

5.1 VIPサービスアクセス機能

アンロックメカニズム

FAVERは指定されたウォレットアドレスにFAVEコインを送付することで、VIPサービスを解放できます。

FAVER DIGITAL GOODS サービスでは、商品レベルでの細分化されたアンロック機能を提供：

- 個別デジタル商品ごとのアンロック設定
- 階層的なアクセス権限の管理
- 段階的なサービス利用権の開放
- コイン保有量に応じたアクセスレベルの調整

この細分化により、FAVEコインの継続的な需要と循環を促進し、エコシステム全体の価値向上を実現します。

- 現在: 運営管理ウォレットによる処理
- 将来: より効率的な自動化システムの導入

提供サービス一覧

- DWUベーストークン発行権限
- FAVR DIGITAL GOODS サービス利用権
- 将来的な追加サービスへの優先アクセス

5.2 還元システム

公平性の担保

一定の条件を満たしてVIPステータスを達成したFAVERには、相当するFAVEコインが提供されます。これらのコインは他のVIPサービスの解放に使用可能です。

エコシステム内循環

還元されたFAVEコインは市場での売却ではなく、プラットフォーム内でのサービス利用を促進し、健全なエコシステムの維持に貢献します。

FAVER DIGITAL GOODS サービスの商品レベル分割により:

- 個別デジタル商品への継続的なアクセス需要
- 階層的なサービス利用による段階的なコイン消費
- コレクションコインなど新商品カテゴリでの需要創出
- FAVERとファン間でのコイン循環の活性化

これらの仕組みにより、コインの継続的な流通と価値向上を実現します。

5.3 コミュニティ機能

ファンサポート

ファンはFAVERに対してFAVEコインを送付することで、推しクリエイターのVIPサービス利用を支援できます。

コミュニティ形成

トークン保有を通じたコミュニティメンバーシップの提供

6. プラットフォーム運営

6.1 運営体制

運営企業

OPEN FAVEプラットフォームは、専門的な運営企業によって管理・運営されています。

段階的機能拡張

プラットフォームの安定稼働を確認した後、段階的に新機能を追加していきます。

- **Phase 1:** 基本VIPサービスの提供
- **Phase 2:** 機能拡張とサービス多様化
- **Phase 3:** 高度な機能とパートナーシップ展開

6.2 サービス管理

提案受付システム

コミュニティからの要望やフィードバックを収集し、サービス改善に活用します。

品質保証

- 継続的なサービス品質の監視
- ユーザー体験の改善
- 技術的安定性の確保

7. トークノミクス

7.1 基本仕様

- トークン名: FAVEコイン
- ティッカー: FAVE
- 総発行量: 1,000,000 FAVE (100万枚)
- 追加発行: なし(固定供給)
- ブロックチェーン: DIVER Chain
- トークン規格: DRC-20

7.2 配布計画

| 配布先 | 割合 | 枚数 | 目的 |
|------------|-----|---------|-----------------|
| 公開配布 | 40% | 400,000 | コミュニティ参加促進 |
| プラットフォーム基金 | 30% | 300,000 | エコシステム発展・サービス拡充 |
| 開発・運営 | 20% | 200,000 | 継続的開発支援 |
| VIP還元プール | 10% | 100,000 | FAVER還元システム |

7.3 供給メカニズム

段階的システム実装

- **Phase 1:** VIPサービス利用によるFAVEコイン送金は運営管理ウォレットで処理
- **Phase 2:** より効率的な自動化システムの導入

循環型エコシステム

100万枚という限定供給により既に希少性が確保されているため、バーン(永続的な削除)は行わず、プラットフォーム運営による効率的な再配布システムを採用予定です。これにより持続可能なトークンエコノミーを実現します。

8. 技術仕様

8.1 ブロックチェーン基盤

DIVER Chain採用理由

- 高速トランザクション処理
- 低手数料
- Ethereum互換性
- DWU(DIVER Wrapped USDT)との統合

8.2 スマートコントラクト設計

機能実装

- DRC-20準拠の基本機能
- 指定ウォレット送金機能
- アクセス制御機能
- 将来的な機能拡張への対応

セキュリティ

- 第三者監査の実施
 - マルチシングウォレットによる管理
 - アップグレード可能性の制限
-

9. 法的対応

9.1 法的コンプライアンス

適切な法的検討

本プロジェクトは、暗号資産およびデジタルコンテンツサービスに関連する国内外の法的要件を十分に検討した上で設計されています。

専門家による継続的レビュー

- 法律専門家との連携による設計レビュー
- ユーティリティトークンとしての適切な位置付け
- 投資商品性の排除と利用者保護の重視
- 適切な情報開示と表示の実施

柔軟な対応体制

法的環境の変化に応じて、必要に応じてプロジェクト設計の調整を行う体制を整備しています。

9.2 コンプライアンス体制

継続的な法的監視

- 法律の専門家による定期的な確認
 - 規制環境の変化への迅速な対応
 - 適切な利用者保護措置の実施
-

10. ロードマップ

Phase 1(ローンチ時)

- FAVEコイン発行・配布開始
- DWUベーストークン発行VIPサービス開始
- FAVER DIGITAL GOODS サービスVIP機能開始
- 基本的なトークン送金・受取機能実装
- VIPサービスアンロック機能開始

Phase 2(3ヶ月後)

- プラットフォーム機能の拡張
- 新VIPサービスの企画・開発
- FAVER DIGITAL GOODS サービスの商品カテゴリ拡大
- 商品レベルアンロック機能の高度化
- ユーザー体験の改善
- コミュニティフィードバックシステムの導入
- パートナーシップの拡大

Phase 3(6ヶ月後)

- 新VIPサービスローンチ
- UI/UX改善の継続実施
- パートナーシップ拡大
- グローバル展開準備

Phase 4(12ヶ月後)

- メタバース連携機能
 - AI技術の高度化
 - 他チェーン対応検討
 - 長期的持続可能性の確立
-

11. リスク要因

11.1 技術的リスク

ブロックチェーンリスク

- ネットワーク障害の可能性
- スマートコントラクトの潜在的脆弱性
- スケーラビリティの課題

対応策

- 定期的なセキュリティ監査
- 緊急時対応プロトコルの整備
- 技術的専門家チームの配置

11.2 規制リスク

法規制の変化

- 暗号資産関連法の改正
- 新しい規制の導入
- 国際的な規制環境の変化

対応策

- 継続的な法的コンプライアンス確認
- 規制当局との適切なコミュニケーション
- 柔軟な対応体制の構築

11.3 市場リスク

採用リスク

- ユーザー獲得の困難
- 競合サービスの台頭
- 技術トレンドの変化

対応策

- ユーザー中心の開発アプローチ
- 継続的な市場分析
- イノベーションへの投資

免責事項

本ホワイトペーパーは情報提供を目的としており、投資の勧誘や投資判断の根拠として使用されることを意図していません。FAVEコインはユーティリティトークンであり、投資商品ではありません。

本プロジェクトの実現には技術的、法的、市場的な不確実性が存在し、計画通りに進行しない可能性があります。参加を検討される際は、十分な検討と自己責任での判断をお願いいたします。

本ドキュメントは随時更新される可能性があります。最新版は公式ウェブサイトでご確認ください。